

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

| | |
|-------|---|
| 事業所番号 | 4590100261 |
| 法人名 | (有) サカイコーポレーション |
| 事業所名 | グループホーム くろみ |
| 所在地 | 宮崎市佐土原町下那珂字下ノ山2962番6 (電話) 0985-73-2711 |
| 評価機関名 | 宮崎県医師会サービス評価事務局 |
| 所在地 | 宮崎県宮崎市和知川原1丁目101 |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 12 月 3 日 |

【情報提供票より】(平成21年11月20日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|----------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 20 年 3 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 10 人 | 常勤 6 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 5.7人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 1階建ての | 1階 ~ | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|---------------------------------------|----------------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 水道・光熱費 35(円/日) |
| 敷金 | 有(円) | <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | |

(4) 利用者の概要(12月3日現在)

| | | | |
|-------|------|--------|--------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 1 名 | 女性 8 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 3 名 |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 1 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 平均 | 87 歳 | 最低 | 81 歳 |
| | | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人善仁会 すずき内科クリニック 山村内科 宮永内科クリニック |
|---------|-----------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路から一本入った場所にあるが、ホームの周囲は、畑や民家があり、自然豊かな環境に恵まれた場所に立地している。利用者の笑顔とそれに応える職員の笑顔を大切に、利用者中心のケアを求め、全職員で取り組んでいる。質の高いケアの提供のため、職員の段階に応じた研修や資格取得の支援を行うと共に、毎月の全体会議でも職員間の意見交換を大切に、統一したケアと理念を大切にしたいケアを目指し取り組んでいる。施設代表者は、他のグループホームと職員間の交流も取り入れており、職員が働きやすい環境作りに気を配っている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-----------|---|
| 重点項目 ① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回評価での改善課題に捉われず、サービスの本質や現状を振り返り、全ての項目について全職員で話し合い、質の向上に向けた取組みを行っている。地域との付き合いは、地元の職員を通じたボランティア依頼、地元商店からの新鮮な食材の提供、ホームの行事時に近所の方へ参加呼びかけと出来ることから交流を深めている。 |
| 重点項目 ② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価や外部評価が、ケアの振り返りの機会となっており、質の向上に繋がるよう、職員全員で取り組んでいる。それぞれの取り組みの状況から、できていることや課題が明らかになり、目指す方向性を共有することができている。 |
| 重点項目 ③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は、地区代表、家族の代表、地域福祉施設長等が参加して、おおむね2か月に1回開催している。会議では、利用者の状態や行事の説明を行い、暮らしぶりを伝えている。今後は、更に地元関係者の参加をお願いし、地域との交流を深めていきたいという思いがある。 |
| 重点項目 ④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 利用者に寄り添い、思いや意向を引き出す取り組みを行い、家族に利用者の暮らしぶりを伝え、意見や苦情を表せるよう働きかけている。2か月毎にホーム便りを発行し、利用者の暮らしぶりやホーム行事を写真入りで家族に伝え、継続した関係づくりに努めている。年に1回、家族間同士が交流する家族会を設けている。 |
| 重点項目 ④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 事業所は地域の社会資源の一つとして自覚し、地域貢献できるホームとなるよう取り組んでいる。ホーム行事である夏祭りやクリスマスなどに、地元の方やボランティアが訪問し、利用者との交流を図っている。今後は、キャラバンメイトとして、地域住民に認知症の理解を伝え、地域との相互協力関係に繋がるよう取り組みたいという思いがある。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「その人らしい暮らしが出来るよう、人格を尊重し和やかに笑顔のある介護…」を理念に掲げ、地域の中で暮らし続けることを支える事業所独自の理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念はわかりやすい表現であり、目に付きやすい箇所に掲示されている。職員全体会議で、理念を唱和し、意識づけしている。職員は、ケアの振り返りを行う際には、理念を基本に考えるよう心がけている。 | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 夏祭りやクリスマスの行事などに、地元の方やボランティアが訪問し、利用者との交流を図っている。地元商店より食材をお願いし、商工会との交流も図っている。今後は、キャラバンメイトとして、地域住民に認知症の理解を伝え、地域との相互協力関係に繋がるよう取り組みたいという思いがある。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価や外部評価が、ケアの振り返りの機会となっており、質の向上に繋がるよう、職員全員で取り組んでいる。前年度の改善事項も検討され、さらなる努力が行われている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、地区代表、家族の代表、地域福祉施設長等が参加して、おおむね2か月に1回開催している。会議では、利用者の状態やホームの行事の説明を行い、暮らしぶりを伝えている。今後は、更に地域との交流を深めるため、地元関係者の参加をお願いし、サービスの向上に繋げていきたいという思いがある。 | ○ | 運営推進会議で、地元の要望や助言が得られ、相互関係が作り上げられる会議になるよう、様々な地元関係者の参加が図れるよう取り組んでほしい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 施設代表者は、市担当者と運営上の報告や課題等について、気軽に相談できる関係が築かれている。市が実施している介護相談員の訪問も受け入れ、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 2か月毎にホーム便りを発行し、利用者の暮らしぶりやホーム行事を写真入りで、家族に伝えている。家族の来訪時にも、利用者の健康状態や生活状況を報告し、継続した関係づくりに努めている。金銭管理は、個別に金銭出納帳に記録し、家族に確認サインを頂いている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族には、訪問時や電話、手紙等で問いかけ、何でも言ってもらえるよう働きかけている。家族間同士が交流する家族会が、年に1回あり、ホームは家族の意見や苦情を表せるよう働きかけている。 | | 家族の意見や要望が、ホームの質を上げる材料になるため、今後も、要望が出やすい働きかけを更に取り組んでほしい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 施設代表者や管理者は、職員の移動や離職が、利用者へのダメージにつながることを理解しており、交代時に不安がないように充分配慮している。事業所は、職員の希望に沿った勤務表作りや職員の休憩室等整え、職員が働きやすい環境を作っている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者は、職員各自に応じた事業所内外の研修が受けられるよう計画を立てている。研修内容は、全職員が共有できるよう復命書が作成され、職員会議時に報告している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者の連絡会に積極的に参加し、学習会や交流の機会を持ち、事業所のサービスの向上に活かしている。介護スタッフも、他のグループホームに研修に行く機会があり、サービスの質の向上に繋げる努力をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用開始前に見学の受け入れを行い、場の雰囲気に馴染めるよう支援している。また、職員が自宅や病院を訪問して、家族や利用者の要望や不安を聞き、安心して納得しての利用が出来るよう努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日常生活の中で、共に喜び支えあう関係を大切にし、信頼関係を築く努力をしている。生活の知恵を学び、利用者の笑顔や労いの言葉を頂くことで、職員は励みに繋がる関係ができています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 家族や利用者の意見を取り入れ、利用者の思いが何であるかを考え続ける努力をしている。利用者が精神的に不安定な時は、一対一の対応に心がけ、行動や表情の中から希望や意向の把握に努めている。利用者や家族から知り得た情報は、職員全員で共有するように心がけている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者がより良く暮らせるために、本人や家族、必要な関係者から意見を聴き、それぞれの意見を反映した利用者本位の介護計画を作成するよう努めている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | サービス担当者会議やモニタリングを定期的に行い、家族や関係者の意見を入れながら、見直しを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の要望に応じて、受診、買い物や外出など柔軟に支援している。月に1回、移動図書館を利用することで、利用者の生活の幅が広がるよう支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 事業所の協力医の他、本人及び家族の希望するかかりつけ医より、適切な医療が受けられる体制をとっている。定期的な往診の他、急変時往診体制も出来ている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現段階では、重度化や終末期ケアに対しては、対応できる施設機能がないため、ケア可能な段階まで対応し、関係機関に繋いでいくという方向性である。その都度、家族を含めた具体的な話し合いは行われ、方針の共有が出来ている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の人格や誇りを損ねるような言葉かけや対応がないように細心の配慮をしている。個人情報保護の内部研修もあり、理解に努めている。特に、入浴時や排泄時には、利用者に恥ずかしい思いをさせないように心がけている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務優先にならないように、本人の意思や希望を尊重し、快適な生活ができるよう支援している。利用者とのふれあいの時間を多く持ち、会話の内容やサインを見逃さないよう注意し、その人らしい暮らしを支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 地元の商店より食材を調達し、新鮮な食材で利用者の好む食事を提供している。食事は利用者と同じテーブルを囲んで、さりげなく介助し、会話を楽しみながら一緒に食べている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の健康状態を確認し、不安や羞恥心、プライバシーに配慮しながら、ゆったりと入浴が出来るように心がけている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 誕生会や夏祭り・ひなまつり・クリスマスの行事にボランティアの訪問があり、利用者は交流する機会を楽しみにしている。職員は、利用者ごとに応じた楽しみごとの支援が出来るよう工夫している。日常生活では、掃除機かけ、洗濯物干し、洗濯物たたみ等できることを支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 敷地内の芝生に出てくつろいだり、近隣の散歩、買い物、ドライブや外食など外出の機会を作り、ホームの中だけで過ごす事がないよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 全ての職員が居室や日中玄関に施錠することの弊害を理解しており、鍵は掛けていない。玄関の人感センサーやコールマットを使用することに関しても、職員で検討し必要最低限に使用している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ハザードマップを用いて職員全体会で確認し合い、災害対策マニュアルや職員の連絡網、災害に備えた備品の準備がある。年に2回避難訓練を行い、利用者の安全・安心を心がけている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|--|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者一人ひとりの定期的体重測定と食事や水分の摂取状況を記録し、職員が情報を共有している。カロリーや栄養バランスは、ホーム職員の栄養士にチェックしてもらっている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 木のおいを感じる居心地のよい開放的な造りになっている。不快な音や臭気も無く、採光、室温は居心地よく過ごせるよう配慮されている。中庭は、ホームの名前にある「くるみ」が植えられ、芝生が敷き詰められているため、いつでも中庭に出てくつろぐ空間がある。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者・家族からの持ち込みをお願いし、利用者の好みに応じた環境作りに努めているが、現在、利用者の関係で写真や展示物が掲示しにくい現状にある。 | | 利用者の状況によって、環境作りは難しいとは思いますが、引き続き、その人らしい居心地のよい環境作りに取り組んでほしい。 |